

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90239	楽曲分析研究	2単位 後期	1・2	講義	近藤 春恵 土井 智恵子

■テーマ

様々なタイトル、音楽語法について研究し、演奏に結び付ける分析力を養う。

■授業の概要

- ・19世紀後半の主に印象派以降の和声語法、作曲技法、歴史背景について代表作品を選曲し分析を行う。
- ・各回の受講者の予習を基にゼミ形式で考察を深める。

■到達目標

- ・機能と声から発展させた和声語法、限定移調法（M.T.L）などについて分析する。
- ・音楽史上の潮流に区分して特徴を聴き分け、作品研究を行う。

■授業計画・方法

1. ガイダンス
2. 印象主義音楽の和声語法①
3. 印象主義の音楽作品分析
4. 印象主義の室内楽、管弦楽作品の分析
5. 20世紀の潮流について
6. 新古典主義音楽作品の分析
7. 新古典主義、の管弦楽作品の分析
8. 神秘主義、その他の作品の分析
9. 無調への流れ
10. バルトークの作品
11. ストラヴィンスキーの作品
12. 12音主義への変遷と室内楽作品
13. 現代音楽の様々な潮流
14. 新しい調性感
15. まとめ

*具体的な曲目については、初回ガイダンスで受講生と調整し決定する。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

受講生は、各楽曲の楽譜を用意し、授業前に予習して臨むこと。

■成績評価の方法・基準

【方法】平常点7割、レポートの提出等3割の配点比で総合的に評価する。

【基準】到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化科学研究科（博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書

各回の楽譜は受講者が用意する。入手困難な楽譜については担当教員が配布する。

□参考文献

「印象派以降」柴田南雄著（音楽之友社）、「和声の変貌」エドモン・コステール著（音楽之友社）、「無調音楽の構造」A. フォート著（音楽之友社）